

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	6番 井上奈保子	<p>1 町各種組織団体について</p> <p>2 コロナ禍の女性、乳幼児への支援を</p>	<p>町の組織団体の1つに交通安全母の会と称し、町内の殆どの家庭が加入している会があります。</p> <p>① この会をボランティアの1団体として位置づけしているのですか。</p> <p>② 加入している家庭では家族構成に片寄りがみられる家もあります。全戸加入なのですか。</p> <p>③ 母の会と称していますが、活動の内容により、女性では困難、危険をとまなう事もあり、会の見直し、廃会等への声も出ていますが、ご見解を伺います。</p> <p>長引く新型コロナウイルスや変異種（ウイルス）等の流行で、女性や子どもの暮らしに大きな影響をもたらしています。非正規で働く女性の失業、収入減等で日々の生活が困窮し、自殺者も増加している傾向が出ています。</p> <p>① 長期間必要な物、特に女性にとって生理用品は必需品であり逼迫状況に苦しんでる人も居られるとこのことです。コロナ禍であり、普段の状況とは異なります。町からの支援、援助の手立てはありますか。</p> <p>② 小・中学校に於ける、児童・生徒を持つご家庭でも影響を受けてる部分もあるかと思われます。学校の立場からの支援について伺います。</p> <p>③ 子ども、特に乳幼児、0～2才児は、今、一番人数が少なく、減少が進んでいます。児童手当の支援はあるものの、子育て中の親にとってこの年齢の子の育児は大変であり、身体・精神的な負担と共に経済面に於いて、悩んでいる人も多いと聞いています。特に育児に必要な「オムツ」の使用で生活費も嵩んでいるとのこと。行政として、子どもが安心して健やかに生育するためにも何らかの支援・補助をお考えいただけないものか、お伺い致します。</p>	<p>総務政策課長</p> <p>健康福祉課長 教育委員会事務局長</p>

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		3 若い介護者への理解・支援を	<p>厚生労働省、文部科学省は親、兄弟など家族が病気やケガなどの事情から、子どもでありながら介護や負担の重い家事におわれる「ヤングケアラー」に対する支援策を探るための会議を開き、5月にその方針をまとめるとの報道がありました。今、「若い介護者」が増えてきている現状に対して、国レベルで良案を打ち出してくれることを期待したいと思います。以下、質問いたします。</p> <p>① ヤングケアラーの存在については埼玉県内に於いても、いろいろな場面で出てきていますが、滑川町内の学校の指導者（教師）や子ども達の間で、これらに関してどのように認識されているのでしょうか。</p> <p>② 町内の小・中学校に於けるヤングケアラーの実態について伺います。</p> <p>③ 教育委員会の立場で各小・中学校からリアルタイムでの詳しい様子（内容）を汲み上げ、学校が早期発見の場とし、若い介護者の孤立を防ぐためにも何らかの支援、救いの手をさしのべることが大切と考えます。現在、どのような方策が適切な事とお考えですか。</p> <p>④ この問題は学校の範囲にとどまらず、社会全体の課題として捉えるべき事案だと思います。自治体（行政）の立場でヤングケアラー支援を行うにあたってはどのような体制づくりをお考えかを伺います。</p>	教育委員会事務局長 健康福祉課長
2	13番 吉野 正浩	1 認知症又は認知症の疑いのある行方不明者（迷い人）の早期発見・保護の推進について	<p>1、今年の3月17日町内において行方不明者が発生した事件の概要と救護にあたった警察の捜査内容と防災行政無線の放送範囲、行政・各種団体の行った救護活動の内容について</p> <p>2、警察からの要請で、防災行政無線でお知らせした認知症による徘徊などが原因で行方不明者となった方の人数は（過去3年前から）</p> <p>3、町が把握している認知症高齢者の実態は（人数及び推移等）。</p> <p>4、認知症患者への支援及び徘徊への対策について</p>	総務政策課長 健康福祉課長

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		2 町職員の適正規模と確保対策について	<p>1、町職員定数と令和3年4月1日現在の職員数の比較。(令和3年度職員募集数と内定数、辞退者の状況、自己都合退職者の把握状況、土木職員の採用がなかった理由なども含めて。)</p> <p>2、県内町村並びに比企郡内類似自治体(人口18,000人以上2万人未満)と比較すると人口当たりの職員数が少ないが、業務遂行上しわ寄せはないか。(住民サービスの低下、残業時間の増加、休暇取得の減少、病気休暇の増加など。)</p> <p>3、職員定員割れへの対応はどのように図るか。</p> <p>4、職員の適正規模と確保対策についての所見を伺いたい。</p>	総務政策課長
3	12番 内田 敏雄	1 防災行政無線の戸別受信機普及について	<p>近年、毎年のように豪雨災害が深刻な被害をもたらしています。防災行政無線は、災害時の地域住民への情報伝達手段として大きな役割を担っています。そのような中、自治体が発信する防災行政無線の内容が屋内に居住する住民に届かないという問題が発生しています。防災行政無線は、自治体が、災害の発生や避難情報などを無線で発信し、屋外に設けられたスピーカーが受信し、音で知らせます。しかし、屋外のスピーカー音は豪雨の時にはかき消されてしまいますし、最近の住宅は建物の密閉度も高くなっていますので、締め切っていると外部の音は聞こえにくくなります。町内でも高齢者等防災情報が届きにくい方々によりきめ細かく防災情報を行き渡らせるために住居内の戸別受信機が有効と考えられ、一部に普及が図られています。</p> <p>こうしたことを受けて、総務省は、戸別受信機をどのようにしたら普及できるか、自治体や無線機メーカーなどをあつめた研究会開いているそうです。戸別受信機の特徴は、行政側が放送を流すと、自動的にスピーカーから音が鳴ります。停電になっても一定時間電池でも動くようになっています。また、災害時に持ち出せるようにライトがついている機種や、聴覚に障害がある人のために液晶パネルで文字情報を流す機種もあります。今は自治体のホームページも充実していますし、避難情報は、電子メールで発信するところもありますが、ご高齢の方のうち、インターネットや携帯</p>	総務政策課長

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		2 観光施策について	<p>電話を使っていない人が国の推計ではおよそ4割いると見られています。また、実際の防災メールの避難情報は、必要な情報がすべて盛り込まれている反面、文字数が多く、難しい表現があったりします。その反面、肉声は、声の調子で深刻さも伝えられ、緊急事態であることを伝えることもできます。一方で屋外スピーカーは平常時のテスト放送などが屋外スピーカーの近隣の住宅からは「うるさい」との苦情を受けることがあるそうです。</p> <p>①現在町内で戸別受信機の配備状況はどうなっていますか。個人及び自力避難が困難な方々の利用する施設などの社会福祉施設、病院、保育園・幼稚園・こども園や、不特定多数の方々が利用するマーケット、商業施設の施設管理者等への情報</p> <p>②近隣市町村の対応状況はどうなっているか</p> <p>③総務省などの国の対応はどうなっているか</p> <p>観光は、交流に伴う様々な需要を通じ新たな所得と雇用を創出する産業として、地域振興に大きく寄与するものです。観光振興の施策としては、観光に関するニーズの変化や地域振興の観点から個別観光資源の保護や観光関係施設を整備するだけでなく、地域全体の景観や雰囲気を含めた広域的かつ総合的な施策が必要です。滑川町の観光資源としては国営武蔵丘陵森林公園があり年間84万人（平成28年実績）が利用しています。滑川町は人口2万人の町ですがこれだけ集客力のある観光資源に恵まれています。近年の生活スタイルはレジャーや余暇生活に重点をおく傾向が強いようで、観光目的・形態が多様化する中、旅行者を迎える地域においては新たな視点での観光地域づくりが求められており、文化財や星空鑑賞等の特定の観光資源を観光に活用して、例えば食を活用したフードツーリズムやロケ地を活用したロケツーリズム等の創意工夫に富んだ新たな観光のスタイルが次々に誕生しています。観光行政は「総合行政」と言われています。産業の支援、広報宣伝、インフラの整備、町並み保存、建築規制、田園風景・自然保護、名産品保護育成、文化遺産保全など広範な部門に関連しています。滑川町においても観光振興が地方創生の有力なツールとなる</p>	産業振興課長 建設課長 総務政策課長

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>と考えるところから観光振興施策についておたずねします。</p> <p>①森林公園駅から森林公園南口までの2.9kmの緑道があります。また、滑川かるた散策マップがあり、町民のウォーキングコースとしても親しまれていますが、そのほかに文化財や史跡を活用して散策コースやサイクリングコースなどを整備する考えはありますか。</p> <p>②谷津の里、伊古の里、中尾の里、菅田の里、ぶんやまの里など里山事業を推進していますが、特産品の開発状況や活動の展望はどうなっていますか。</p> <p>③2019年の嵐山町のラベンダー祭りでは8万人の来場者があったと聞いています。滑川町でも新たな観光スポットの開発を整備するような考えはありますか。</p> <p>④昨年度に町のホームページを大幅にリニューアルして住民の方から見やすくなったとの意見も聞いていますが、文化財等の観光スポットをアピールするなどして、今後、町外向けの発信もウエートを増やしていく考えはありますか。</p>	
4	14番 阿部 弘明	1 里山の保護に関する町の政策について	<p>町の26%を占める山林は住民から里山と呼ばれ町の財産です。また、CO2の削減、地球環境を守るためにも、災害防止のためにも大切な役割を果たしています。住民の意識調査でも町の満足度で「自然環境」は常に上位に位置しています。しかし、近年、山林所有者の高齢化などで維持管理することの困難さや経済的な側面からやむなく、町外所有者や太陽光事業者へ売却などが進み、森林伐採が行われ里山が失われつつあります。里山は今、守らないと将来にわたって禍根を残しかねません。町は「人権尊重と緑の保全の町宣言」を行い、ため池農法の農業遺産登録をすすめ、農業を基幹産業としており、町としても里山を喪失は危惧するところではないでしょうか。「自伐型林業」を核に持続可能なまちづくりを進めるために町が森林地権者や住民任せにせず里山の保全に力を入れなければならないときと考えます。</p> <p>町として里山の保全についての政策を伺います。</p>	環境課長 産業振興課長

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>2 新型コロナウイルス感染予防策としての町独自の検査について</p>	<p>①「里地里山の保全等の条例」の制定について ②「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」の活用で「自伐型林業」を進める施策について ③地権者の意向調査の実施について ④森林環境税の活用について。伺います。</p> <p>ワクチン接種の取り組みが始まり職員の皆さんには大変な業務になりますが住民の命を守る業務として取り組んでいただくことをお願いします。</p> <p>① 町は新型コロナウイルス対策として困窮する住民への生活や営業を支援する事業については引き続き一人の住民も取り残さない実効性のあるものへ改善することを求めるものです。中でも生活困窮世帯への「食糧支援」は大変喜ばれる取り組みです。私たちが参加した「フードパントリー」でも多くの市民が受け取りに参加しました。また、食料の提供もお米から野菜、缶詰をはじめ様々な食材やマスクや生理用品などの生活必需品など心のこもった物資が集まりました。</p> <p>町の取り組みも幅広い住民の皆さんに呼びかける事も必要なではありませんか。農家に食材の提供を呼び掛けることも有効ではないかと考えます。</p> <p>② 町の検査についての取り組みはいまだ国や県任せになっています。果たしてこのまま検査の拡充なしに感染を抑えることができるのか。町の認識をおうかがいします。</p> <p>検査の有効性もはや議論の余地はないと考えます。これまでの検査体制を軽視してきた国の施策やワクチン接種の遅れなどが今日の感染の急拡大につながったと多くの専門家が指摘しているとおりです。埼玉県が行う高齢者施設への検査についても4月は月一回、5月6月は月二回でその後については明らかになっていません。また、在宅介護など入所施設以外の事業所や福祉施設や教育施設などへの拡大も未定です。変異ウイルスが猛威を振るっているのはこのウイルスが発症する3日前から感染させるた</p>	<p>健康福祉課長 健康づくり課長</p>

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>め無症状の感染者が感染を広げているためです。高齢者施設だけでなく若年層への感染も広がっています。高齢者施設や福祉施設や保育・教育施設で働く方は人と人の距離をとることが困難であり感染を心配しながら仕事を続けています。これら職員を守り、感染を広げないため、施設の業務維持のためにも検査の拡充は必要です。県や国任せにせず町独自の検査の検討をお願いします。現在、様々な民間企業が検査を行い、唾液によるPCR検査は検査数も拡大し、その正確性についても実証されています。費用も一件2,000円というところもあり、多くの行政や企業で委託しています。スクリーニング検査ですが陽性者は医療機関での受診を行い、保護隔離をすることで感染拡大を防げる方法です。ワクチン接種も遅れており、検査の有用性について改めて検討する必要があるのではないのでしょうか。町の考えをお伺いします。</p> <p>③ クラスタが発生した場合についての対応を厚労相が4月23日に「濃厚接触が生じやすい職場におけるクラスタ発生時の検査について」を発出しました。ここでは、効率的な検査の実施について「民間に委託する方法」についても認めています。クラスタ発生時の町の対応についてお伺いします。</p>	
		3 平和で安全・静かな町の空を	<p>全国各地で航空機の低空飛行や編隊飛行、深夜や早朝の飛行など静かな住民生活を脅かす問題がおきています。埼玉県は米軍の「横田空域」となり、日本の航空法を無視する米軍機による騒音や振動が昼夜を問わず生じ、住民から「静かな町を」と要望が寄せられています。最近、民間機の飛行も含めその頻度が高まっているようです。①住民の不安にこたえるためにも町がその実態を調査、把握することが必要ではないのでしょうか。町の考えを伺いします。</p>	総務政策課長
		4 パートナシップ協定について	<p>3月17日、札幌地裁は同性婚を認めない民法の規定などは、憲法の「法の下での平等」に反するとの初の違憲判決を下しました。裁判長は「同性愛が精神疾患で</p>	総務政策課長

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>あることを前提として同性婚を否定した科学的、医学的根拠は失われた」と指摘しました。現在、同性カップルは相続権や税金の配偶者控除など法的・経済的な権利が認められていません。病院で家族としての面会や付き添い、手術の際の同意判断も許されないことなども問題になっています。今回の判決は、性的指向の違いでもたらされるこれらの数多くの差別を憲法14条の平等原則に照らして不合理としました。選択的夫婦別姓の実現については、直近の世論調査で6割、7割が賛成し、早期実現を求める地方議会での国への意見書の採択件数は205に上っています。しかし、政府与党は「社会の混乱につながる」と判決を無視しようとしています。このような国の姿勢から、自治体独自で同性カップルの関係を公的に認証するパートナーシップ制度の導入が進んでいます。現在、79自治体が増え、そこに居住する人口も総人口の3分の1を占めるに至っています。</p> <p>①滑川町内の住民で同性婚が認められないために不利益を被った方の事例について伺います。②また、町での同制度の導入について伺います。</p>	
5	5番 上野 葉月	1 滑川中学校 登下校中の自転車事故	<p>① 今年4月に滑川中学校の新1年生が、自転車通学の際に骨折した事故が少なくとも2件あったと聞いています。今年4-5月の中学生の自転車事故の発生件数は何件と把握していますか。</p> <p>② 上記について、発生場所、事故状況、学年、教育委員会が考える事故原因を教えてください。</p> <p>③ おとし2019年の6月議会でも私はこの件について質問しました。その際、学校での周知を求めました。</p> <p>これらの事故について、生徒及び保護者へ文書での周知はしましたか。</p> <p>④ 自転車に積む荷物が重いためにバランスを崩して転倒する心配があります。必要な勉強道具だけを持ち帰るやり方は進んでいるのでしょうか。</p> <p>また、勉強道具と部活の荷物と合わせ、中学生は何キロ程度の荷物を自転車に積むのでしょうか。</p>	教育委員会事務局長



順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		2 新型コロナワクチンのリスク	<p>⑤中学生の平均通学距離、最も遠い生徒の通学距離とその地域、同じく平均通学時間、最も遠い生徒の通学時間とその地域を教えてください。</p> <p>① 厚生労働省が5月12日に開催した審議会資料では、新型コロナワクチン接種後の副反応疑い報告数について、医療機関からの報告だけで25件の死亡報告があります。20代の方1名、30代の方1名、40代の方3名が含まれます。『新型コロナウイルス感染症の国内発生動向（速報値）（令和3年5月12日18時時点）』によりますと、日本での20代の方の累計死者数は3名、30代は19名です。このような統計資料を見ますと日本人の場合、感染による死亡リスクとワクチン接種による死亡リスクを比べて、少なくとも高齢者・ハイリスク者以外はワクチン接種のリスクが高いと捉えざるをえません。さらに厚労省HPにはファイザー社の新型コロナワクチンについて「現時点では感染予防効果は明らかになっていません。」と書かれています。</p> <p>このようなりスク情報は、周知すべきと思いますが、町ではどのような対応をとっていますでしょうか。</p> <p>② 通常ワクチン開発には5年から10年かかりますが、新型コロナワクチンは1年程度で実用化したもので、しかも遺伝子ワクチンという今まで使用されることがない種類のもので、アナフィラキシーショックなど短期の副作用とは別に、何年も先のがんを引き起こす可能性や生殖細胞に問題を起こし次世代に悪影響が出るような副作用の可能性もあります。</p> <p>このような副作用、自身の健康状態、自身が属する世代の重症化率と死亡率等を考えて、ワクチン接種をするかどうか個々人が判断していくこととなります。新型コロナワクチンは、他のワクチンと同様に任意接種であり、他者から接種を強制することがあってはなりません。</p> <p>統計情報よりもテレビ報道の情報が流布している印象のある新型コロナウイルスやワクチンで</p>	健康づくり課長

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>す。接種を希望しない人を尊重し、所属する団体や周囲の人の同調圧力から守るための方策を講じる必要があると考えます。</p> <p>以上から、町で行う新型コロナワクチン接種のお知らせに際し、下記について明記してほしいと思います。掲載書面(広報・予約通知等)と記載内容の現状と、現状の記載がない場合は今後の予定についてご説明ください。</p> <p>ア：ワクチン接種のメリット、ワクチンを受ける事のデメリットの記載</p> <p>イ：ワクチン接種は任意であり強制ではないこと</p> <p>ウ：どのような理由があってもワクチン接種は決して強制してはいけない、強制されてもいけない</p> <p>エ：このワクチンの長期的な副作用は全くわかっていないこと</p>	
6	10番 上野 廣	<p>1 ゼロカーボンシティ宣言を</p> <p>2 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」について</p>	<p>ゼロカーボンシティとは、「2050年までに、CO2排出実質ゼロをめざそうという自治体」のことで、昨年10月、菅首相が所信表明演説の中で、「2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す」と宣言したことがきっかけになり、企業・自治体、全日本でその目標を達成しようということである。今年2月26日に289自治体となり、人口合計で1億人を超えたようです。これは、異常気象による自然災害の激甚化、伝染病、食糧不足など、地球温暖化の影響は、極めて深刻な状況です。化石燃料を出来る限り使わないで快適な生活条件を維持するシステムづくりなどが必要になります。いずれは、比企広域で取り組んでいくことになるように感じています。滑川町の考えを伺います。</p> <p>大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は、令和4年1月から放映されます。吉田町長が会長になり、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」比企市町村推進協議会が先頭に立ち、頑張っているところです。滑川町にとって、絶好の機会が到来いたしました。13人の一人である比企の禪尼が住んでいた館が、和泉にあり、そこから物資を頼朝に送っていたという言い伝えが斎藤家にあることがわかりました。その館跡などの史跡は、火災で焼失したようですが、発掘調査を行い場所の確認、滑川町</p>	<p>総務政策課長</p> <p>総務政策課長</p>

順位	氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			<p>における比企氏所縁の地見学コースなどが一刻も早く実現できるよう取り組んでいただきたい。関連して、泉福寺、伊古神社、二宮山展望台整備（車で行けるよう整備）など、滑川町の事業計画もわかる範囲で教えていただきたい。また、町民へのアピールとして、HPや広報、庁舎ロビーにリーフレット、ポスターなどの計画は。</p>	